日本における造園樹木の植栽分布に

関する研究 第4報

飯 島 亮・安 蒜 俊 比 古

On the planting distribution of garden trees and shrubs in Japan (IV)

by Riyo IJIMA and Toshihiko ANBIRU

I 序

既に前号までに造園樹木 108種の植栽分布図を掲げ、且これらについて解説を行つたが、今回は引き続き24種について、その植栽分布図を示し、また解説を行う。

尚調査、作製方法は前回と同じである。

II 図表 (109~132)

III 解説 (109~132)

109. *Quercus phillyraeoides* A. Gray

ぶな科

ウバメガシ 自然分布は本州中部から琉球の海岸に分布する。植栽分布は大体年平均気温 14°C 以上の地域で、日本海側では福井県、太平洋側では茨城県以西である。ビワバガシ、フクレウバメ等の異品がある。

110. *Quercus dentata* Thunb.

ぶな科

カシワ 千島の南部から九州まで、および朝鮮半島、中國大陸に広く分布する。特に北海道に多く見る。葉が深く切れこむハゴロモガシワ等あり。

111. *Castanopsis cuspidata* Schottky var. *Sieboldii* Nakai

ぶな科

シイ 別名スダジイ 堅果がほぼ球形のものをツブラジイと呼ぶが、分布図は同種を含む。自然分布は太平洋側は福島県、日本海側は佐渡ヶ島から南西、琉球に分布するが、植栽分布区域もほぼ同様である。長野、山梨地方での生育はよいとはいえない。

112. *Pasania edulis* Makino

ぶな科

マテバシイ 自然分布は大体年平均気温 15°C 以上の地域で、関東の南部より太平洋岸に沿つて琉球に分布している。植栽分布は太平洋側は宮城県、日本海側は石川、富山県におよんでいる。

113. *Myrica rubra* Sieb. et Zucc.

やまもも科

ヤマモモ 自然分布は大体年平均気温 14°C 以上の地域で、関東の南部から九州、琉球、台湾、朝鮮半島の南部に分布する。植栽分布は日本海側は新潟県、太平洋側は宮城県位いまでである。

114. *Populus nigra* L. var. *italica* Moench

やなぎ科

ポプラ 原産地は不明とされている。欧州説とクリミヤ、ヒマラヤ地方だとする説あり。日本に渡来したのは明治10年(1877)以前といわれる。日本全国に栽植され、北海道にはこの木の並木が多く見られる。

115. *Salix babylonica* L.

やなぎ科

シダレヤナギ 原産地は中國大陸の中南部である。日本に渡来した年代は明らかでない。北海道から九州にわたり全国に栽植される。何処でも生育は良好である。

116. *Chloranthus glaber* Makino

せんりよう科

センリヨウ 本州中部の太平洋側から西、九州、琉球、台湾まで、および朝鮮半島の南部、中國大陸、マレーシア、インドに広く分布する。植栽分布は年平均気温 14°C 以上の地域で、太平洋側は茨城県、日本海側は石川県におよぶ。異品にキミノセンリヨウがある。

117. *Agave americana* L. var. *variegata* Nichols.

ひかんばな科

リュウゼツラン メキシコ原産。日本には天保年間(1830~1843)に渡来する。植栽分布は大体年平均気温 14°C 以上の地域である。日本海側は福井県、太平洋側は茨城県におよぶ。図はアオノリュウゼツランを含む。

118. *Musa Basjoo* Sieb.

ばしよう科

バショウ 中國大陸の産といはれる。日本には鎌倉時代(1185~1389)に渡来したと伝えられる。植栽分布は九州、四国、本州の北部、青森県におよぶが、東京附近より以北では冬季防寒をしている。

119. *Yucca filamentosa* L. ゆり科
イトラン アメリカ南東部産。天保年間(1830~1843)に日本に入つた。植栽分布は九州、四国、本州北部にわたり岩手県、秋田県では稍生育が悪い。

120. *Yucca recurvifolia* Salisb. ゆり科
キミガヨラン アメリカ産。ジョージア州、ミシシッピ州に分布し、主として海岸に生ず。明治(1868~1911)中期に日本に入る。九州四国を経て本州北部に栽植される。北海道小樽にそれを見るが栽植されてまだ日が浅い。

121. *Chimonobambusa marmorea* Makino いね科
カンチク 九州に野生品あり。中国大陸産との説もあるが、日本に自生品ありとする説も多い。九州、四国本州北部にわたつて栽植をみる。

122. *Phyllostachys bambusoides* Sieb. et Zucc. いね科
マダケ 中国大陸の産。九州、四国より東北地方南部の秋田県まで栽植される。

123. *Phyllostachys pubesens* Mazel いね科
モウソウチク 中国大陸の産。日本には琉球を経て鹿児島島の島津家に1736年に入る。植栽分布は九州、四国本州北部におよぶ。北海道の函館や札幌には栽植されるも生育極めて貧弱である。

124. *Pleioblastus Simonii* Nakai いね科
メダケ 自然分布は大体年平均気温 14°C 以上の地域で、九州から関東南部におよぶが、植栽分布は青森県までである。日本の特産で異品にフィリメダケ、キシメダケがある。

125. *Semiarundinaria fastuosa* Makino いね科
ナリヒラダケ 自生は本州中南部、四国、九州の記録もあるが通常栽植され、大体1月平均気温 0°C 以上の地域である。

126. *Shibataea Kumasaca* Makino いね科
オカメザサ 九州に自生品があるといわれる。九州四国、本州の北部まで栽植されている。

127. *Sasa Veitchii* Rehd. いね科
クマザサ 本州、四国、九州の温暖な山野に自生状のものがあるが、全国的に栽植される。

128. *Trachycarpus Fortunei* H. Wendl. やし科

シユロ 日本産。九州南部の原産といわれる。紀伊半島、能登半島などには野生化している箇処もみられる。九州、四国、本州北部にわたつて栽植され、秋田、岩手県では生育稍不良、勿論防寒する。

129. *Trachycarpus Wagnerianus* Becc. やし科
トウジユロ 中国大陸産。ビルマにも分布するという。植栽分布は南九州より日本海側は山形県、太平洋側は宮城県におよぶ。

130. *Chamaecyparis obtusa* Endl. ひのき科
ヒノキ 福島県から西、九州の屋久島まで分布し、日本特産である。チャボヒバ、クジャクヒバ、カナアミヒバ、スイリユウヒバなど多くの園芸品種がある。北海道の南部まで広く栽植されている。

131. *Chamaecyparis obtusa* Endl. var. *breviramea* Mast. ひのき科
チャボヒバ ヒノキの園芸品種で北海道南部まで栽植される。

132. *Chamaecyparis pisifera* Endl. ひのき科
サウラ 岩手県から西、四国、九州にかけて分布する。木曽地方に殊に多い。ヒノキより稍寒地に適す。日本特産で園芸品種が多く、ヒヨクヒバ、シノブヒバ、ヒムロなどはその主なものである。大体北海道の南部まで栽植されている。

Summary

The author investigated the planting distribution of gardentrees and shrubs in Japan, and already showed 108 maps of distribution in the preceding number.

In this paper they have show 24 maps of distribution and have given an explanation about them from the geographical point of view.

(40. 05. 30 受附)